

「戦争と平和展」各地で開催つづく！

おおみや平和の会

7月23日～8月3日：常陸大宮市役所1階ロビー

会場で話を伺いました。

- ・世界から早く戦争がなくなってほしい。（75才・男性）
- ・去年原爆資料館を見学し、いろいろ学びました。（高校三年生・女性）
- ・お互いの戦争体験を話しあいました。茨城新聞を見てきました。東海原発廃炉署名をしました。（70才・女性）

【おおみや平和ニュースより】

★各平和の会で開催した「戦争と平和展」の記事・写真をお寄せ下さい。

水戸西平和の会

8月11日～8月12日：水戸市赤塚・コープ菜の花福祉センター

今年で6回目。茨城の戦争・沖縄・シベリア抑留・原発の4つのテーマで、パネルなど約165点を展示。

【戦後11年間シベリアに抑留された三村節さん】



内原・友部平和の会

8月7日～8月19日：笠間市立友部図書館ギャラリー
同じ会場で今年で6回目。

「原爆と人間」「ヒロシマ・ナガサキ・東京大空襲」「郷土の戦争」「原爆再稼働問題」のコーナーに分け展示。



【お盆をはさんで2週間、展示を行いました。】

原爆と人間展実行委員会【土浦】

1700人が見た「2012原爆と人間展」

土浦平和の会も参加する「原爆と人間展実行委員会」主催の2012年「原爆と人間」展は、7月31日から8月7日までの1週間、県南生涯学習センターで開かれました。

入場者は延べ1,753人に達し、高校生や子供ずれの若いお母さん方などが熱心に見入っていました。また、折鶴や核兵器廃絶署名、東海第2原発廃炉署名の呼びかけに、鶴を折る人、署名をしながら原発で話し込む人も目立ちました。

期間中の8月5日のピースデーには、土浦市平和使節団の中学生との交流や朗読、アニメ「はだしのゲン」、短編映画「放射能内部被爆から子供を守る」の上映などに子供たちを含め80名が参加しました。

（土浦平和の会ニュース）



63,746筆（合計236,712筆）提出

第4次 県知事宛「東海第二原発の廃炉を求める署名」提出！

県平和委員会は2,936筆（合計7,160筆）を提出

県知事宛て「東海第二原発廃炉署名」提出が、8月10日（金）午前11時から、県庁1階入札室にて、40名余の参加で開催され、県は丹生活環境部理事兼防災危機管理局長が対応しました。12時までの予定が25分オーバーしました。今回は第4次として、5月31日に発足した「東海第二原発の再稼働阻止・廃炉を求める署名センター（略称・署名センター）」として提出しました。平和委員会は、川又（那珂）、木村（事務局）が参加しました。

県知事宛「東海原発廃炉署名」は第3次（4月11日）まで、総計172,000筆を「共同」提出しています。第3次提出後、いくつかの団体が「東海第二原発差し止め訴訟」に軸足を移し、以後の署名とりくみを終了しました。

一方、「東海第二原子炉の廃炉」を目指すなら、県民世論を喚起するためにはよりいっそう署名活動を強化すべきだ。裁判闘争も県民の支援を広げることが重要で、更に署名活動の強化が必要だという声が大きくなりました。平和委員会を含め、団体・個人が密接に連絡を取り、統一的に活動を推進する署名センター的組織が必要であるという声の高まりを受け、5月31日に結成されたのが「署名センター」です。

丹理事は「県原子力安全対策委員会が2月以降開催されていないのはM8.0～9.0の地震時の津波評価、手引きが国から示されず、原電からの情報が出揃っていないため」「県の防災計画が策定できていないのは4月に出るはずだった国の方針が出ていないので遅れている。年度内にはつくる」というように、あくまでも国待ちの姿勢を変えませんでした。

参加者からは「再稼働を容認した上での防災計画は問題だ」「県民の生命と生活を守る責任を持っている県は、国待ちの態度を改めてほしい」「県の責任と判断で廃炉を国や日本原電に要求してほしい」という声が上がりました。



※「署名センター」の約40名の方々が提出に立ち会いました。

平和新聞

2012年8月15日・8月25日 合併号

1994号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 632 合併号

2012.8/15-8/25
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

楽しかった！ 「百里平和盆踊り」



内原・友部平和の会 柳岡修二

今月11日、初めての「百里平和盆踊り」が開かれました。

銚田の中山さんによれば、百里の行事は初春に「初午まつり」、初夏の田植え、盛夏に「ピース・キャンプ」、秋には稲刈り、を行ってきました。



しかし「ピース・キャンプ」は事実上消滅、農作業以外では、「初午まつり」のみになっていました。

こうしたことから無鉄砲にも私の妻は、百里のお膝元の梅沢さんに『百里で盆踊りをやりたいねえ』と声をかけ、彼は二つ返事で受けて立ちました。さらに、妻は草葉の陰の先祖の霊と昨年の震災犠牲者の鎮魂を、強調しておりました。

実行委員には梅沢さん、美野里の山口さんを核に、発電機や電灯、音楽や踊り指導をどうするか、櫓の補修や周囲の片づけなどを議論し、矢臼別にならって（足元にも及びませんが）、なんとか当日を迎えることができました。

櫓の上に大太鼓を吊り上げ、電灯も吊り（提灯は調達不可）、茨城合唱団の羽鳥さんの支援により、音響設備も整いました。

昼の雷雨もウソのようにおさまり、盆踊り向きの暑苦しい夜を迎えました。

大内県議の挨拶に続き、梅沢さんの奥さんの田鶴子さんが、衆院茨城二区から立候補を表明、大きな拍手を浴びました。また、基地反対運動の闘士の故高塚惣一郎さん作詞による「百里音頭（三池炭坑節のメロディー）」と「北国の春」が何度も繰り返され、輪になって踊りました。そのあと、花火やスイカ割りなどもあり、笑いの渦に包まれました。

まさに綱渡りでしたが、各地から40数人の方々が参加され、第1回としてはまずまず。今後はこれを、定着させていきたいと思っています。

実行委員会からお赤飯、稲荷寿司、かき氷などのサービスもあり、一足早い盆踊りを楽しみました。（2012.8/11）



・「かわら版」 全国コンクールで入選す
我は常々特選とす

・地域密着 独特の紙面月三回
スタッフの健闘 かねがね敬服

・原発ノー！ 国会開むうねりには
かわら版も貢献 しじみ平和

田中 日出夫
（みとみなみ平和の会）

かわら版賛歌

オスプレイ配備に反対する 沖縄県民大会



■9月9日（日）午前11時
午前10時からイベントがあります ※バスもですが、道路の
状況でお知らせします。

■宜野湾海浜公園（雨天決行）

基地事故7回、36人の死亡を出している最
悪の欠陥機、オスプレイの配備は許せません。
全国・全国の力をあわせ、オスプレイ配備を撤
退させましょう。普天間基地の固定化を許さず、
即時閉鎖・無条件で撤去させましょう。
歴史的な県民大会に、こぞご参加下さい。

最大規模の参加で
大会を成功させましょう

共産党沖縄県委員会 連絡先 098-862-4747 電話 098-862-6032 FAX 098-862-6047

【シリーズ】 わが街・わが会員

鹿嶋市／鈴木 登美子さん（鹿行平和委員会）

当たり前な日常を安心
して暮らせるように



「今から出てこられるか？やっぱり無理だよな。じゃ、あしたはどうだ。」「今週の金曜日、あいてる？」埼玉で以前一緒だった職場の友人からの飲み会の誘いの電話だ。

そんな声がかかるとすぐ飛んでいく。幸い、以前の住み家には娘夫婦が住んでいるので勝手を知った別宅のように使わせてもらっている。

友人達と旅行へ行くのも楽しみだ。行く当日までどこへ行くか分からずミステリーで出かけることも。

4才と10ヶ月の二人の孫の成長もとても楽しみだ。行くと共にどんどん変わっていく。上の子は、おしゃべりでこちらが吹き出してしまうようなことをよく言う。下の子は、なにしろよく笑う。店をぶらぶらしたり、チラシを見たりすると「これ、いいかも」とつい孫のことばかり考えてしまう。

友人達とのおしゃべり、孫との時間は、私の元気の源となっている。この先も好きな時に出かけられ、いつまでも良き「ばあば」でいられるよう健康に気をつけないと。と同時に、こうした当たり前の日常が何の心配もなく送れる世の中であってほしい。

今、原発はいらない、再稼働反対、オスプレイは帰れ、消費税増税反対・・・日本のあちこちからうねりのように声があがっている。いのちと生活を脅かすようなことは許せない。私も声をあげていかなば・・・。大事な人たちのためにも。

バーベキューで「平和納涼会」

と き：2012年9月6日（木）

ところ：北山公園（友部）

☆ どなたでも参加出来ます！

☆ マイカー乗りあわせで行きます。

★参加費500円

【お酒・ビールなど飲む方は各自持参】

<主催・申し込み先>

水戸西平和の会 新婦人みのり班 保健生協ふれあい支部
251-6525(小川) 253-2807(池田) 252-2272(若林)

